



たなばたまつり

7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイル星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

「なるほど 行事ブック」参照

すてき発見 part2



くまの・みらい保育園のウシガエルを触らせてもらったAくん。帰園してすぐに描きました。大きなウシガエルと黒い服を着ている僕です。ウシガエルの大きさに驚いた様子がしっかり伝わってきますね。

あそびは、学びの宝庫です！

今年の年長さんのお泊り保育は、くまの・みらい保育園のお友だちと一緒にいきます。先日、くまのみらい保育園で交流会を行いました。綱引きをしたり、一緒に給食をいただいたりしながら楽しい時間を過ごしました。一番子どもたちの興味を引いたのは、ピオトープの生き物だったようです。くまの・みらいには、大きなピオトープがあり、すいこうのようにめだかやどじょう、カエルが住んでいます。ただのカエルではなく、子どもたちの顔の大きさほどもある大きなウシガエルです。熊野の子どもたちは平気で掴んで見せてくれました。生き物が大好きなすいこうの子どもたちですが、さすがに始めて見る大きなウシガエルには、戸惑っていました。でもA君は勇気を出して両手で捕まえさせてもらいました。何とも言えない表情をしながらも何か感じるものがあったのでしょうか。帰ってきてからすぐに画用紙に大きなウシガエルと、小さな自分を描いていました。自然は子どもたちに感動を与え、子どもたちは、何らかの方法で誰かに伝えようと心を動かすのです。『自然は、学びの宝庫』です。

今、すいこうでは自然の不思議体験を日々楽しんでいます。発端は、園庭にたくさん咲いているかすみ草を玄関に飾っている時、「花屋さんには、きれいな色のかすみ草があるよね。どうやっているんだろ？色水につけてみようか」と、保育者の一言で始まりました。青や黄色の色水に入れたかすみ草は、思った通り、青や黄色の花になりました。それを見た年少のKくんは、側に生けている白いアジサイに気づき、「これは何色になる？」と、不思議発言をしてくれました。「やってみようね」とすぐに反応する保育者。白いアジサイは見事に色水と同じ色に変化しました。それを見ていた年中のIくんは、「黄色になったアジサイを青い水の中に入れたら、周りは黄色のまま、真ん中が青になるんじゃない？」とつぶやきました。Iくんは、さりげなく仮説を立てたのです。もちろん本人は仮説などと思っはいませんが、「こうしたらこうなる」と、先のことを想像する力は、考える力です。アジサイは、一瞬Iくんが立てた仮説のようになりましたが、最終的には青色になりました。事務室前の小さな空間での出来事ですが、子どもたちのつぶやきのおかげで「なぜ？どうして？」という不思議と驚きがたくさん詰まった空間になっています。

自然に関わるあそびだけではなく、子どもたちは日々のあそびの中で、色々なことを考えたり、工夫したり、発見したりしています。2歳児クラスでは、園庭に雨どいを斜めに置き、側に水やバケツを用意しておく、バケツで水を汲んで雨どいに流して水の流れを見ています。Rくんは、近くにあったアジサイの葉っぱを雨どいの上にそっと置いてみましたが、葉っぱは流れません。Rくんは、バケツに水を汲んで雨どいに流すと葉っぱがサーッと流れていきました。それを見たRくん、「わぁ！」と大歓声。大人には当たり前のことですが、2歳児さんなりにどうしたら葉っぱが動くのかを考え、試している姿は小さな博士のようでした。こうした小さいころの主体的な楽しいあそびの経験を基盤にして幼児クラスになると、お友だちと協力したり、思いを伝えあったり、時にはけんかをして悲しい気持ちにもなったりもしますが、やっぱりお友だちと一緒に楽しいと思い、仲良くするために自分で折り合いをつけたりする、そんな非認知能力と言われる力がついてきます。これらの力は、広島県が乳幼児期に育てほしいと考える5つの力、『気づく力・うごく力・考える力・やりぬく力・人と関わる力』なのですが、この力は、大人から教えられて育まれるものではなく、主体的に遊ぶ中でしか育まれない力であり、ひいては小学校教育の土台となる力なのです。すいこうでは、一人ひとりの子どもたちが、今何に心を動かされたのか、何を感じているのかをしっかりと受け止めながら、主体的に遊べる環境を整えてまいります。『あそびは学びの宝庫』ですので、これからもあそびを大切に組み込んでまいります。

今月は、年長さんが野外活動センターでのお泊り保育に参加します。保護者の方と離れて、仲間だけで過ごす一泊二日。大自然の中で、どんな発見や驚き、心を動かす出来事があるのか楽しみです。子どもたちは、4月からさまざまなことを子ども会議で話し合っていて決めています。グループリーダーやそのほかの役割も子ども会議で決めました。自分の役割に責任を持って取り組み、少しずつ身につけてきた非認知能力をフル回転させ、自分のことは自分でやり、時には、友だちと助け合ったりしながら、一泊二日をいっぱい楽しんでくれることでしょう。

園長 上原 玲子

原画展見学に行こう

ひろしま美術館  
絵本のひみつ展  
7月6日~8月18日



宮城県美術館コレクション  
絵本のひみつ展

年長さんは、7月23日に幼稚園バスに乗ってひろしま美術館まで見学に行きます。原画展も楽しみですが、公共の場での過ごし方なども学ぶ機会にしたいと思います。

子育てメッセージ

子どもの存在を  
しっかり見つめ、  
急いで育てず、  
信じて待つあげる

どんな時でも信じてくれる人の存在を子どもは望みます。自分をちゃんと見てくれる人を子どもは好きになります。そして、自分のペースで歩くことを許されたとき、安心して内に秘める花を咲かせます。その子だけの『幸せの物差し』と一緒に探してあげましょう。

全国私立保育連盟  
子育てメッセージより